

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月15日

計画の名称	第2期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	
交付対象	盛岡市												
計画の目標	快適な都市基盤づくり 北東北の拠点都市にふさわしい広域交通網を形成し、高次医療施設への安定的なルート確保や通勤・通学時における安全性・快適性の確保や物流等の都市活動を支える幹線道路を整備する 市民生活を守る安全で安心な生活道路づくり 誰でも安全で安心に通行できる生活環境道路整備を行うとともに、計画的な道路管理を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	2,942	A	2,942	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2当初	令和4末	令和6末
1	広域交通網を形成し都市活動を支える幹線道路の改修率			
	盛岡市1・2級幹線道路の改良率 （1・2級幹線道路改良済延長 / 1・2級幹線道路実延長）× 100（％）	87%	%	88%
2	舗装新設、修繕等の舗装率			
	盛岡市道の舗装率 。（市道舗装済延長 / 市道実延長）× 100（％）	82%	%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村 道	改築	（１）一の渡岩洞湖線	道路改築 L=4.0km	東工区	■	■	■	■	■	619		-
		R6完了予定																	
	A01-002	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村 道	改築	（他）二子沢線	舗装新設 L=2.04km	玉山字二子	■	■	■	■	■	482		-
		R 6 完了																	
	A01-003	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村 道	改築	（他）洪民東線	舗装新設 L=0.25km	洪民字愛宕	■	■				170		-
		R3完了予定																	
	A01-004	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村 道	改築	（１）津志田白沢線 2工 区 ほか1路線	現道拡幅及び新設L=1.86 k m	盛岡市	■	■	■	■	■	1,653		-
		R15完了																	
	A01-005	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村 道	改築	（１）谷地頭線外 1 路線 厨川工区	道路改築 L = 0.99km	盛岡市	■					18		-
R 7年度完了予定 令和3年度より県PA51へ移行																			
										小計						2,942			
										合計						2,942			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

課内組織にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和8年7月

公表の方法

盛岡市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

改良率が目標値以上となり、市内道路の安全性や利便性が向上した。
・広域交通網を形成し都市活動を支える幹線道路の改良率
盛岡市1・2級幹線道路の改良率 88%
(1・2級幹線道路改良延長 / 1・2級幹線道路実延長) × 100 (%)
・舗装新設、修繕等の舗装率
盛岡市道の舗装率 83%
(市道舗装済延長 / 市道実延長) × 100 (%)

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

本計画で完了しなかった要素事業については、次期計画である「第3期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり」において引き続き整備を推進する方針である。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	88%	
	最 終 実績値	88%	
2			
	最 終 目標値	83%	
	最 終 実績値	83%	